



150anniversary

記念式典

12/14

10:00

王子小 HP→

東京都北区立王子小学校 学校便り 令和6年11月29日



かがやけ！王子っ子

㊦んがえる子 ㊦んばる子 ㊦さしい子 ㊦んこうな子

◆来校の際には、必ず、ネームズレートを着用し、受付をお通りください◆

年末・年始の行事、家族との対話

副校長 西脇 輝久

王小スポーツフェスタ、音楽会などさまざまな行事を終え、令和6年もあとひと月ほどとなりました。各学年、学級でそれぞれが自分の目標を決め、よく努力した期間であったと思います。行事を通して友だちと協力することも学びました。

さて、冬休みは、2週間と短いですが、一年の終わりと始まりを経験する大切な時期です。一年の終わりとして、ご家庭では大掃除や片付けをしたいと思います。これは、一年間の終わりに掃除をしてきちんときれいな家庭で新年を迎えたいとする昔からの風習です。片付け等をするときはずいぶん、子どもたちもいっしょにできるとよいですね。きれいに掃除をした後は、家の中に飾ってあるしめ縄を新しくしたり、玄関に門松を飾ったり新年を迎える装飾をするご家庭もあることと思います。鏡餅を飾り、年越しそばを食べるときには、今年一年のなかで、頑張ったことを出しあって、子どもたちをたくさんほめてあげてください。

大晦日、除夜の鐘が鳴り響く中、新しい年が始まります。元日は、昔より日本人が一年のうちで一番大切にしている日です。年賀状には元旦と書きます。元旦とは元日の朝という意味です。年賀状は一月一日の朝に着くのが礼儀と言われているので元旦と書きます。三が日は、元日から3日間のことを指します。国民の祝日は元日ですが、官公庁や一般企業もこの3日間は休みの所が多いです。この間に、家族で初詣に出かけたり、親族が集まったりします。お正月にお雑煮を食べるようになったのは平安時代ごろからだそうですが、その年の歳神様にお供えしたお餅や野菜などを食べることに由来するようです。日本各地ではお雑煮の作り方が違うので、各家庭のお雑煮の味もいろいろあるでしょう。

年末・年始は、家族みんなで一緒に食事をしたり出かけたりすることもあると思います。ぜひその機会に学校であったことや新しい年の抱負などを語り合ってほしいと思います。

音楽会実行委員長より

王小スポーツフェスタが終わると、本格的に音楽会の練習が始まり、11月14日(金)の児童鑑賞日、15日(土)の保護者鑑賞日と2回の本番を無事終えることができました。たくさんの保護者の方々にお越しいただいたことに、心から感謝しております。

コロナ禍で合唱も合奏も制約が多かった3年前の音楽会でしたが、今回は大きな声で思いっきり歌い、リコーダーや鍵盤ハーモニカを交えて合奏をすることができ、大いに盛り上がった音楽会になりました。どの学年の演奏も、工夫を凝らし、見応えのあるものになりました。演奏を終えた後の大きな拍手を聞いて、どの子も満足げな顔をしていたのが印象的でした。

今後も子供たち中心の行事を考えてまいりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

7月にお知らせしました通り、学年だよりを印刷して配布するのは、12月が最後となります。年明け1月からは、まなびポケットでの配信のみになります。学校だよりは、引き続き印刷で配布し、まなびポケットでも配信します。ご承知おきください。

音楽会 各学年より

1 年 生	2 年 生
<p>1年生は、合唱「世界中の子どもたちが」、合奏「チャパネカス」に取り組みました。「世界中の子どもたちが」は、1年生らしく元気いっぱいに歌うことができました。一生懸命練習した手話も上手にできました。「届けよう 僕らの 声を」の振りが可愛らしく、とても魅力的でした。「チャパネカス」は、練習の段階では、リズムがずれてしまったり、音が小さい楽器があったり、180人の音がきれいに響くか心配でした。しかし、音楽会の当日は、心を1つに合わせ、すてきなハーモニーを奏することができました。演奏の後、会場からの大きな拍手を聞いて、1年生はにっこり笑顔！すてきな思い出になりました。</p>	<p>「さんぼ」、「君をのせて」、「となりのトトロ」といったジブリメドレーは、元気な2年生をよく表しているものでした。練習では、歌い方や演奏の仕方はもちろん、楽器の持ち方、歩き方、話している人や指揮者を見ることなど、この音楽会を通して多くのことを学びました。練習を重ねていき、どんどん自分たちの音楽会にすることができました。代表の言葉の通り、167人、心を一つにして頑張り抜きました。また大きく成長した2年生。この経験をこれからの生活や学習に活かしてくれることを期待しています。2年生、よく頑張りました♪</p>
3 年 生	4 年 生
<p>3年生のテーマは、「サウンドオブミュージック」です。約60年前に公開された映画ですが、子供たちに見せると、トラップ一家とマリア先生との物語に夢中になりました。「わたしのお気に入り」では、歌いながら、雷を怖がる子供たちがマリア先生の部屋に次々と集まるシーンを思い浮かべていたと思います。「エーデルワイス」の合奏では、最初は「無理。」といった声も聞こえましたが、パート別の練習を重ねる毎に、めきめきと上達し、本番は自信をもって臨めていました。気持ちを合わせることで生まれるハーモニーの心地よさを味わうことで、一段と成長したなと、感じることができました。</p>	<p>4年生は、夏休み前から音楽会へ向けて始動しました。合奏「シング」のリコーダー練習を夏休みの宿題に取り入れて練習し、9月からはどの児童もふけるように頑張ってきました。高学年向けの楽曲でしたが、児童一人一人が気持ちを合わせて演奏し、本番では見事に合わせて演奏することができました。</p> <p>合唱は「地球星歌」を歌うことになり、初めて児童に聞かせた時には、すぐに歌い始めるなど、意欲的に取り組みました。アルトパートとソプラノパートに分かれ、音楽専科の山本先生からは、「どちらのパートもバランスよく聞かせましょう。」とのアドバイスをいただき、それぞれのよさを存分に発揮し、きれいな歌声を体育館に響かせることができました。</p>
5 年 生	6 年 生
<p>さあ150！笑顔で奏でる音楽会～音楽の力で心を一つに～ 音楽会プロジェクトが立ち上がり、どんな音楽会にしたいかを話し合うことから始まった全体練習。音を正しく、リズムを合わせて演奏することも頑張りましたが、最後は、いかに気持ちを込められるか、ということに力を入れました。</p> <p>合唱「フレ！フレ！大丈夫！」は、お互いに向かい合って表情を見合いながら練習しました。合奏「Paradise Has No Border」は、演奏しながら体育館中をリズムにのって歩いて、演奏を聞き合いながら楽しむことを意識しました。プロジェクトのメンバーが練習を引っ張り、周りの人たちがそれを支え、自分たちで創り上げた音楽会となりました。子供たちのメッセージは、伝わったでしょうか？</p>	<p>友達と協力し、お互いに高め合い、 思い出に残る150周年の音楽会にしよう</p> <p>6年生は、音楽会の練習が本格的に始まるタイミングで、音楽プロジェクトが立ち上がり、練習メニューや目標を考えながら練習を進めていきました。</p> <p>リコーダー奏「風が吹いている」は、聞いていて心地よくなるような音色を目指して、練習をしました。合唱「カイト」では、それぞれのクラスで考えた「絆」「希望」「成長」のメッセージが、聴衆に届くことを目指しました。合奏「第ゼロ感」は、リコーダーの主旋律とそれぞれの楽器の音のバランスに気をつけて、疾走感あふれる演奏になるように練習を重ねました。</p> <p>本番ではアンコールをいただき、子ども達が楽しそうに演奏していた姿が素敵でした。</p>